

## 箕面市の景観についての市民アンケート結果

『箕面市都市景観基本計画（素案）』の策定にあたって、市民を対象に景観の現状や問題点、今後に向けた取り組みへの意見をうかがうアンケート調査を行い、計画の検討に反映を行いました。

### 市民アンケート概要

暮らしの中で感じる魅力ある景観、問題となっている景観や、今後進めていくべき景観施策の方向、そして景観まちづくりへの関わり方などをうかがいました。

調査対象：市内にお住まいの15歳以上男女3,200名

（西部・中部・東部地域各1,000名、北部地域200名）

調査方法：郵送配布・郵送回収（督促無し）

調査期間：平成18年（2006年）6月12日（月）～6月28日（水）

回収率：31.7%（1,014通）

調査項目：回答者の属性について（年齢層、居住地など）

箕面市の景観について

箕面市の景観づくりの取り組みの方向について

市民と行政の協働による景観づくりの取り組みについて

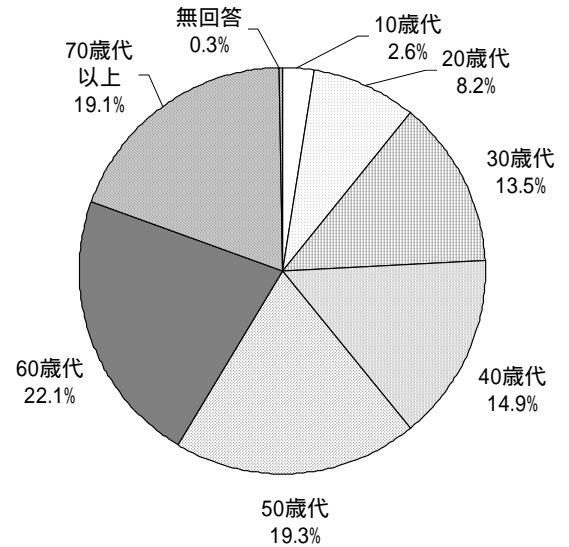
その他（自由回答）

## 市民アンケート結果

### 1. 回答者の属性

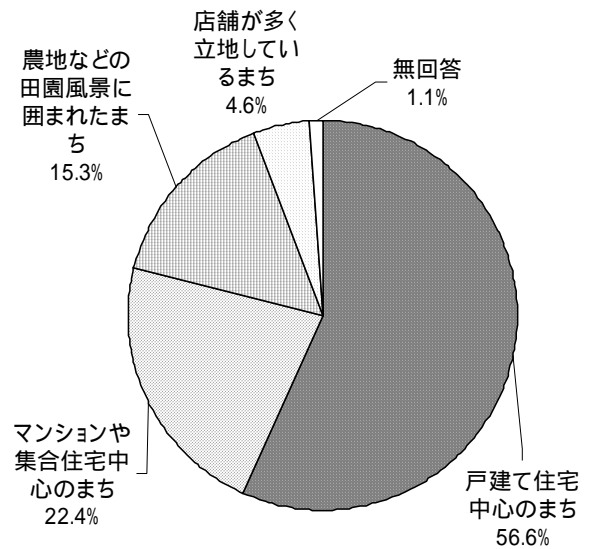
#### (1) 回答者の年齢

- ・ 60歳代が最も多く 22.1%、次いで 50歳代、70歳代と熟年層の割合が高くなっています。
  - ・ 市全体の人口の割合と比較すると、40歳代以上の回答者数の割合が市全体の人口の割合を上回っており、主に中～高齢層の関心の高さがうかがえます。
- 注 「10歳代」は15歳以上20歳未満を指します。以下同じ。



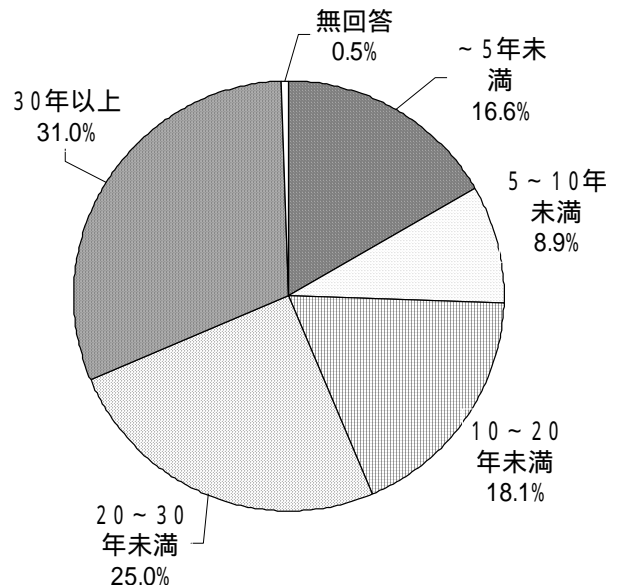
#### (2) 回答者の居住地の特徴

- ・ 56.6%が「戸建て住宅中心のまち」に住んでいると回答しています。次いで「マンションや集合住宅中心のまち」が22.4%、「農地などの田園風景に囲まれたまち」が15.3%です。
- ・ 10～20歳代は「マンションや集合住宅中心のまち」に住んでいる割合が他の世代よりも高くなっています。
- ・ 「農地などの田園風景に囲まれたまち」は、70歳以上の27.3%を占めており、田園風景に囲まれたまちの住まい手が高齢化していることがわかります。



#### (3) 回答者の居住年数

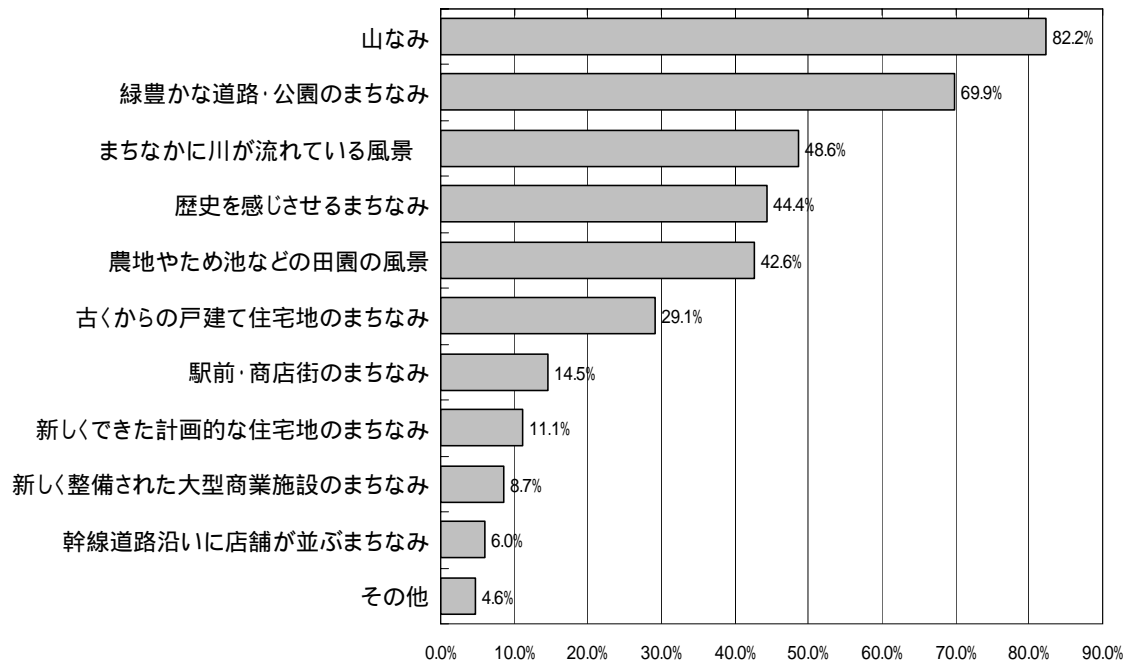
- ・ 30年以上が最も多く、31.0%を占めます。
- ・ 年代別に見ると、20歳代の33.7%、30歳代の40.9%が5年未満と回答しており、新規の居住層は20～30代のファミリー世帯が中心であることがわかります。



## 2. 箕面市の景観について

### (1) 大切にしたい箕面市の景観（複数回答）

- ・ 大切にしたい箕面市の景観をうかがったところ、「山なみ」(82.2%)、「緑豊かな道路・公園のまちなみ」(69.9%)、「まちなかに川が流れている風景」(48.6%)など、緑豊かで自然を感じられる景観を評価した回答が集中しています。
- ・ 次いで、「歴史を感じさせるまちなみ」への評価が高いことも特徴的です。



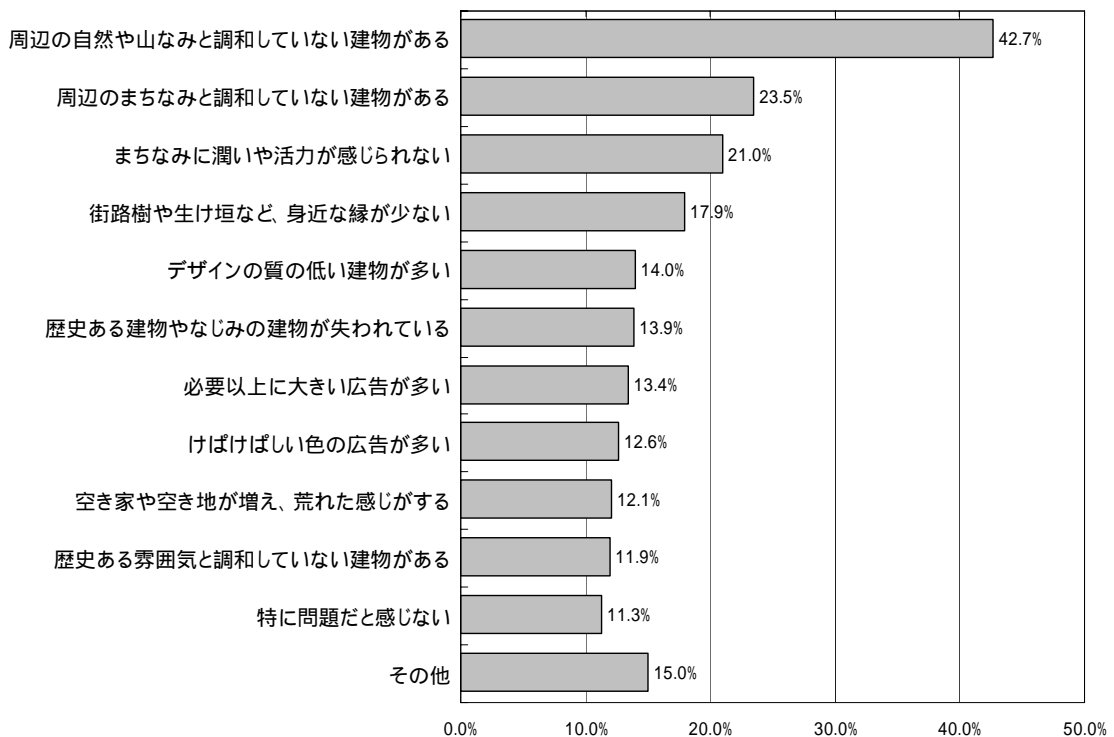
### (2) お住まいの近くで好きな景観（自由回答）

- ・ 好きな景観について、自由回答でうかがったところ、「自然」については主に以下の要素が挙げられました。特に、山なみや四季の豊かな河川、緑の風景には多くの意見が挙げられました。
  - 山なみ（箕面山、勝尾寺山など）の風景
  - 市街地を流れる河川、土手の風景
  - 四季折々の表情を見せる桜並木、紅葉の風景
  - 農地の広がる風景 など
- ・ 「まちなみ」については、以下の要素が挙げられ、住宅地のまちなみを魅力に感じている回答が多く挙げられましたが、一方でかやの中央など新しいまちなみについての回答もありました。
  - 落ち着いた住宅地のまちなみ（桜ヶ丘、桜井、箕面、石丸、稲、外院、百楽荘、青松園など）

- 緑豊かで美しい沿道のまちなみ（豊中亀岡線、中央線、紅葉橋通り、阿比太橋通り、桜通りなど）
  - 花などが飾られた美しい住宅地のまちなみ（小野原東、瀬川など）
  - 西国街道沿い・旧集落のまちなみ（新稲、萱野、帝釈寺など）
  - 計画的な住宅地のまちなみ（粟生外院、粟生間谷西、外院の里など）
  - 商店街のまちなみ（箕面駅周辺、商店街など）
  - 商業施設の並ぶまちなみ（かやの中央、国道 171 号など）
- ・ 「公園・道路」について、公園は、箕面公園・滝道といった市外からも多くの人が訪れる名所の他に、芦原公園や唐池公園、箕面西公園、せせらぎ公園など自然を感じられて景観上也優れた公園、その他には近隣の公園が多く挙げられています。いずれも豊かな緑などを評価する声が多くなっています。  
道路は、滝道その他、桜通り、中央線、山麓線などの街路樹の豊かな通り、新御堂筋や市民病院前の道路など眺望の素晴らしい通り、西国街道の歴史を感じられる通り、その他には国道 171 号のにぎわいのある通りなどが挙げられています。
  - ・ 「その他」では、山なみや市街地を望む眺望（市民病院付近・新御堂筋からの山なみの眺め、スカイアリーナ・山麓部から眺めるまちなみ、自宅から眺める山なみや夜景など）が特に多く挙げられました。その他には、緑の豊かな風景（無くなったと危惧する声も）、寺院・神社等の風景や、ホタルの飛び交う河川の風景、などが挙げられていました。

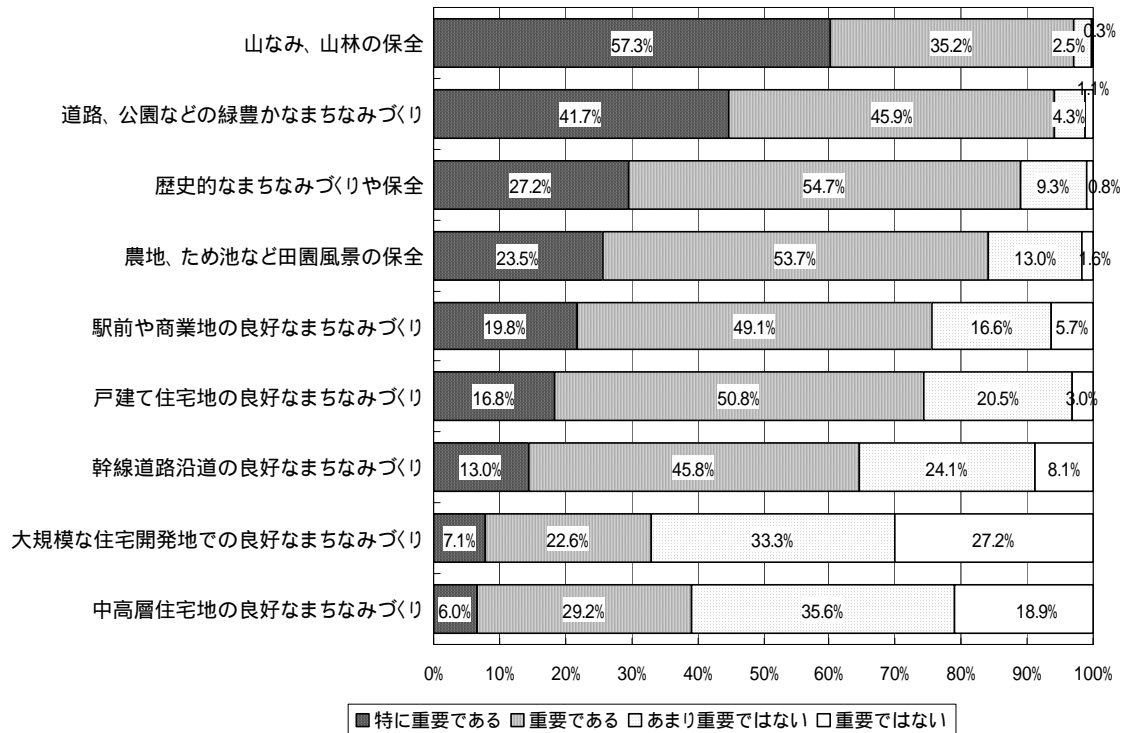
(3) お住まいの近くで景観上問題だと感じること(複数回答)

- ・ 「農地やため池など、自然を感じられる場所が少なくなっている」(46.4%)  
「周辺の自然や山なみと調和していない建物がある」(42.7%)と、先ほどの大切にしたい景観の裏返しで、自然を感じられない、山なみを阻害する景観に対する問題意識が突出しています。
- ・ 「周辺とのまちなみと調和していない建物がある」に次いで、「まちなみに潤いや活力を感じられない」と、活力低下を指摘する意見も21.0%挙がっています。



### 3. 箕面市のこれからの景観づくりの取り組み方向について

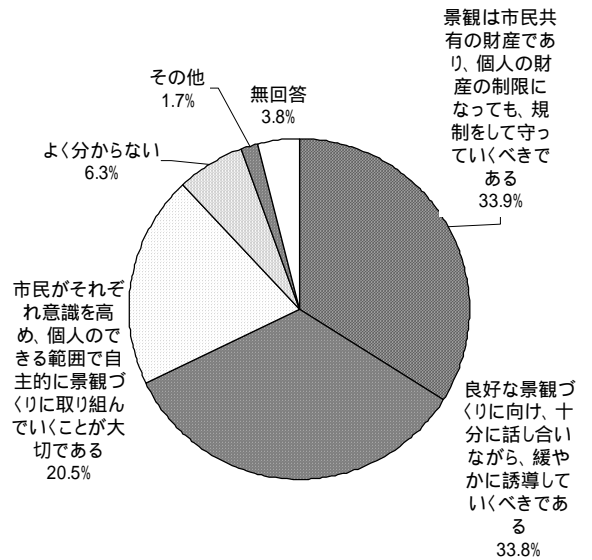
- ・ 「山なみ、山林の保全」、「道路、公園などの緑豊かなまちなみづくり」は、「特に重要である」という意見が多くなっています。次いで、「歴史的なまちなみづくりや保全」、「農地、ため池などの田園風景の保全」が挙げられています。
- ・ 「中高層住宅地の良好なまちなみづくり」や「大規模な住宅開発地での良好なまちなみづくり」など、近年増加している開発については、それほど重要だとは認識されていません。



#### 4. 市民と行政の協働による景観づくりの取り組みについて

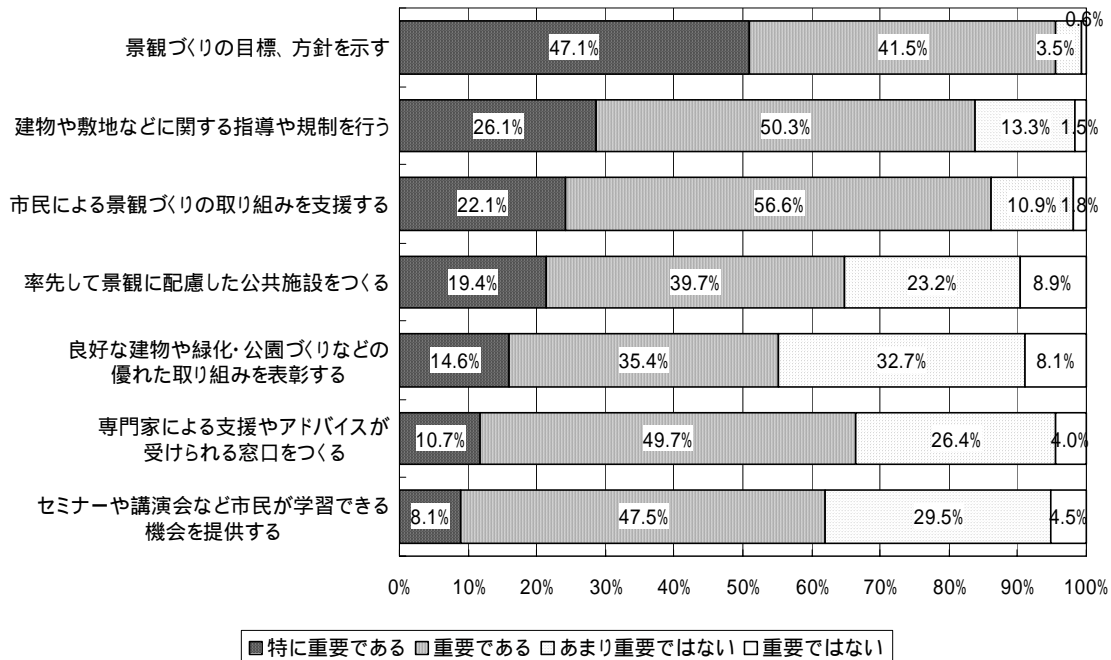
##### (1) 取り組みにあたっての姿勢

- 「景観は市民共有の財産であり、個人の財産の制限になっても、規制をして守っていくべきである」と、「良好な景観づくりに向け、十分に話し合いながら、緩やかに誘導していくべきである」がともに3割となっており、景観への取り組み姿勢については多様な考え方があることが分かります。



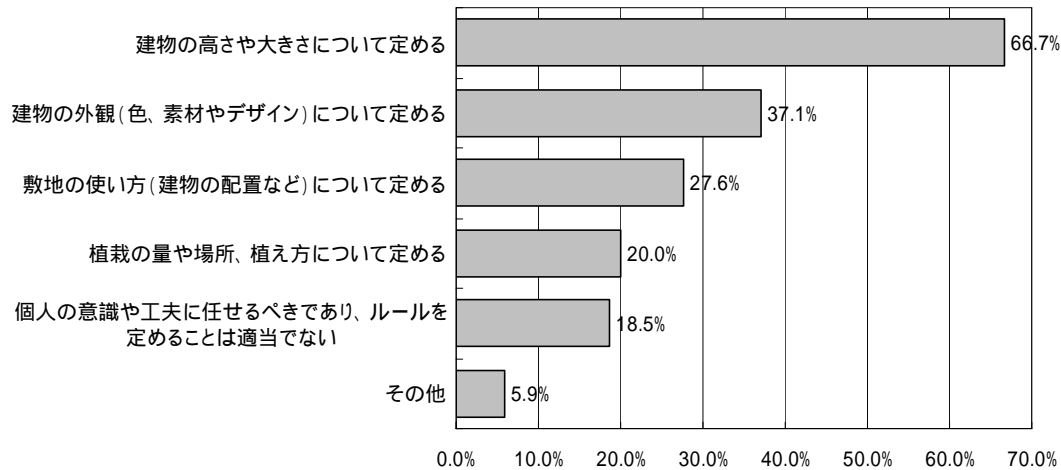
##### (2) 行政の役割として重要だと思うこと

- 「景観づくりの目標、方針を示す」ことが最も重要だと考えられています。次いで「建物や敷地などに関する指導や規制を行う」「市民による景観づくりの取り組みを支援する」と続きます。将来像を示しながら、誘導と合わせて市民の取り組みを支援する取り組みが求められています。



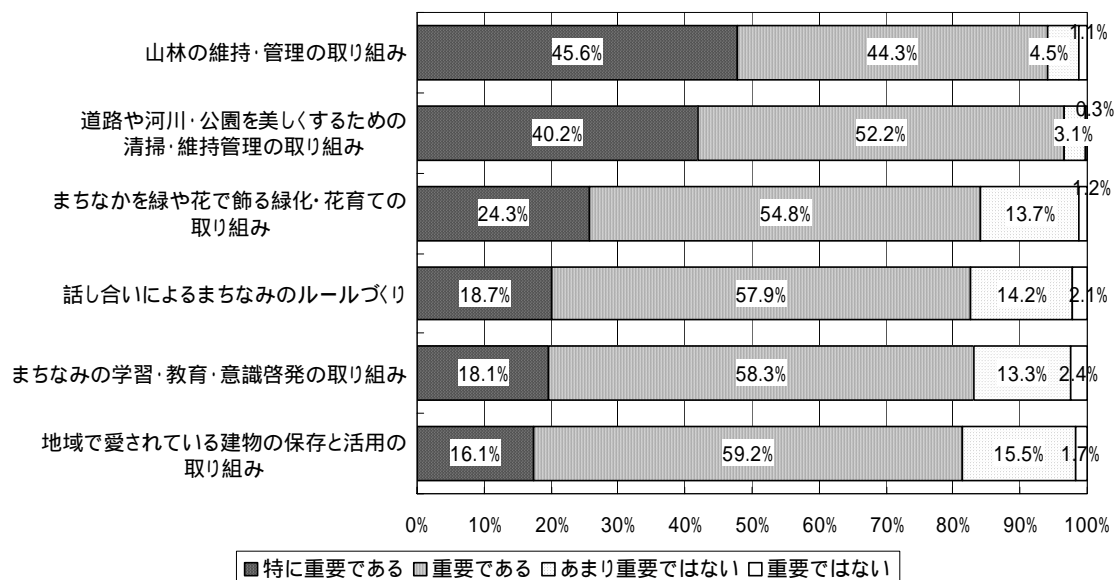
### (3) ルールづくりについての考え（複数回答）

- ・ 「建物の高さや大きさについて定める」が66.7%となっており、建物の外観は37.1%、敷地の使い方は27.6%と続いています。一方で「ルールを定めることは適当でない」という回答も18.5%あります。
- ・ 既に都市計画により一定定められている高さや大きさのルールについては一定の理解がありますが、そこから踏み込んだ外観等のルールには意見に幅があるようです。



### (4) 市民と行政の協働による取り組みで重要だと思うこと

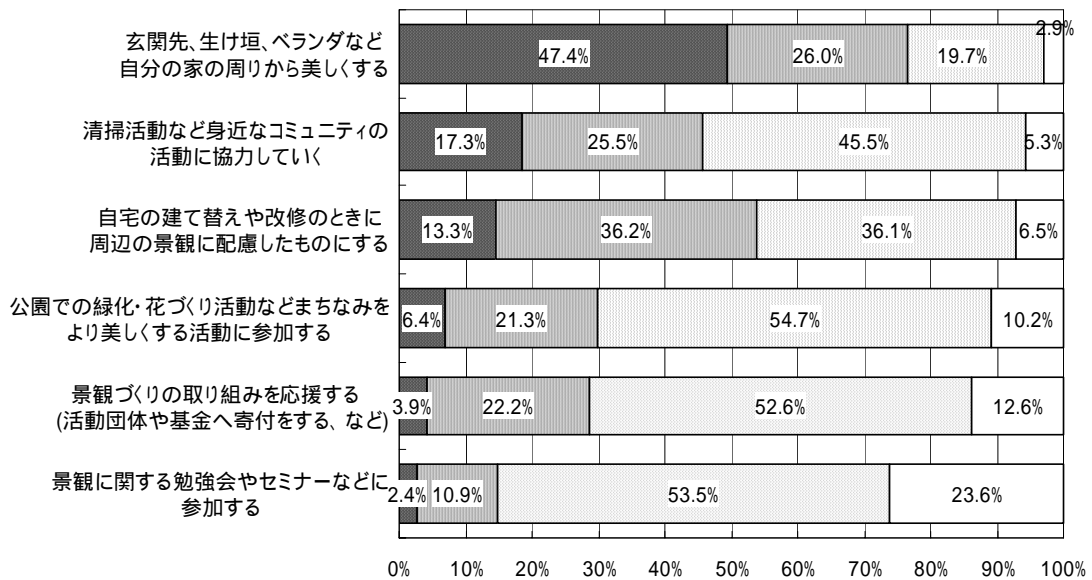
- ・ 「山林の維持・管理の取り組み」、「道路や河川・公園を美しくするための清掃・維持管理の取り組み」など、先に挙げた大切にしたい景観を保全し良くしていくための取り組みが特に重要だと考えられています。
- ・ 学習・教育・意識啓発とあわせて、話し合いによるまちなみのルールづくりについても重要だという回答が多くなっています。





(5) 自らが取り組みたいこと

- ・ 自分の家の周りの美化については、最も身近で取り組みやすいことから、半数近くの人が「すでに取り組んでいる」と答えています。
- ・ 一方、その他の取り組みについては、取り組みたいという意向はうかがえますが、実際の取り組みにまでは至っておらず、今後の啓発や取り組みの広がりに向けた検討が必要と考えられます。



■すでに取り組んでいる □ぜひ取り組みたい □機会があれば取り組みたい □必要がない、特に関心がない

## 5. 自由回答

- ・ その他、箕面市の景観に対する提案等を自由記述でうかがったところ、景観に関連する意見として主に以下のようなものが出されました。

### 美しい自然の保全

箕面市の特徴的な自然（山なみ、川、滝など）は保全し、今後とも大切にしていきたい、という意見が多く挙げられました。

- ・ 箕面市といえば山や滝が有名で自然を特に大切にしてほしいと願います。
- ・ 作られた景観でなく、自然を守り、共存していくことが大切である。
- ・ 整備されたもの、人工的（手を加えたもの）なものでなく、自然そのものをいかに残しておくかが重要である。
- ・ この街に来てまず感動したのが、箕面駅の裏の山と川の水のきれいさでした。いつまでも、こういった自然を大切に、また、続くようにしてほしい。
- ・ 箕面川をもっと美しくしたい。

### 公共施設の維持・管理や利用方法についての提案

道路、公園など公共施設の美化といった維持管理について、定期的な清掃等を行うべきだといった意見が挙げられました。中には、地域でそうした維持管理や利用方法を考えるべきだ、という意見もありました。

- ・ 公園や道路の樹木を手入れすることから始めてほしい。
- ・ 公園の景観があまり考えられていないのでは。子供の事件も多発しているので、公園をきれいに安全なものにして欲しい。
- ・ 少子高齢化が進んでおり、子供の為の公園をほとんど子供が利用せず草木がおい茂り、維持管理の経費がかかっている。今後はそういった公園の利用方法を考えていかなければ、経費ばかりかかって利用されない公園は意味がない。
- ・ 箕面には公園がたくさんあるが、花壇等の手入れを行政が行うか、ボランティアの方に要請をするなどして、美しく保ってほしい。
- ・ 市内の公園の維持管理は各地域に責任をもたせる方法を考えるべきではないか。

### 駅前、国道 171 号沿いなどの商業景観の改善

商業地の景観に対して、いきいきとした景観づくりへの要望や、デザインの不満、質的な改善を求める声がありました。

- ・ 阪急箕面駅前商店街がさびれており、何らかの対策が必要。
- ・ 箕面の玄関となる場所で全く景観を無視した建物が建てられている。
- ・ 最近、遊戯施設が増えて、雰囲気も悪くなっている。

### 新規開発による景観悪化への懸念

近年のマンション建設や拠点開発（小野原西地区等）による景観の障害、悪化を懸念する意見、あるいは開発そのものへの疑問などが挙げられました。

- ・ 箕面市に住んで 20 数年、生涯住み続けたいまちです。それでも近辺の自然は開発により少なくなってます。これ以上、緑豊かなまちなみが痛めつけられない様、景観について最重要課題として取り組んでほしいものです。
- ・ 高層マンションやパチンコ店などの規制をもっと厳しくするべき。
- ・ 自然をこわしてまで高層マンションや住宅開発をする必要がない。もし開発するならばかなり厳しい規制が必要である。
- ・ 小野原西地区の里山や自然をこわしてほしくなかった。

#### 景観を良くするための具体的な取り組みの提案

箕面市の景観を良くしていくための取り組みのアイデアなどが出されました。特に、若年層・熟年層含め様々な世代をターゲットにした取り組みや、子供への意識付け、身近なところから参加できる取り組みなどが挙げられました。

- ・ 地域毎の景観パースを地域住民と相談し作成する。エリア別に特色ある景観のマップを作成し、PRする。
- ・ 景観づくりのセミナーや、自宅で出来るガーデニング等、家族で参加出来るセミナーがあれば良い。学校でも子供達にもっと意識づけをするべき。
- ・ 景観を良好にしているすてきなガーデニングの家や、イルミネーションのすてきなお宅を広報紙等で紹介し、モチベーションづくりを行う。
- ・ 年に数回、生徒・教師と地域とで協力してクリーン作戦をしてはどうか。周りを清潔にする奉仕活動を体験することで地域住民との連帯などの効果が考えられる。
- ・ 月 1 回位、地域を限定した一斉清掃等を行政と N P O で共催して取り組めば、住民同士の横のつながりや、生きがいづくりを兼ねて環境美化にも貢献できるのではないかと思います（自主参加型で継続実施する）。
- ・ 年寄りや小さな子供ではなく、10 代後半から 30 代後半の成人が積極的にまちづくりに参画できる体制をつくってほしい。

#### 近隣のまちの美化や安全性の向上など

沿道の美化や、歩きやすい安全な道づくりなど、身近なまちの問題と関連した景観の問題を挙げた意見がありました。特に、近隣のゴミなどの美化、清掃の必要性などが多く挙げられています。

- ・ こんな所に？という違法駐車がすごくて本当にびっくりです。もう少し車と歩行者の安全についても考えてほしい。
- ・ 見通しのよいまちなみが防犯につながる。
- ・ 住宅地の街灯が少なく、夜道が怖い。
- ・ 道路にはゴミや吸いがら、犬・猫の糞があり、とても美しいとは思えない。
- ・ ゴミのポイすて、タバコのポイすて、たんをはくなどしてはいけないことを、厳しくルールをつくる方がいいと思う。基礎はまず“きれい”なまちづくりだと思う。